

# 例会報告

第2759回例会報告議事録

日時 令和6年8月20日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：国際ロータリー第2790地区

ガバナー 寒郡 茂樹様

国際ロータリー第2790地区

地区幹事長 原 幸司様

第2790地区 第11グループ

ガバナー補佐 鈴木公三様

第2790地区 第11グループ

ガバナー補佐幹事 依田勇様

ビジター：なし

S.A.A.：梶会員

## 会長挨拶

日暮会長



本日はガバナー公式訪問ということで国際ロータリー第2790地区 ガバナー 寒郡 茂樹様、地区幹事長 原 幸司様、第11グループ ガバナー補佐 鈴木 公三様、第11グループ ガバナー補佐幹事 依田 勇様、我孫子クラブの方に来ていただきまして、ありがとうございます。

また午前中は懇談会ということでガバナーよりいろいろなお話をいただきまして、ありがとうございました。この後、卓話、意見交換会とまた、よろしく願います。

先週はお盆休みということで休みにさせていただきましたのですが、今年のお盆も地震があって特別警戒というのがあり、また台風9号でどうなるのかなという形でしたが思ってるほどの被害はなかったようでよかったかなと思います。

本当に今年は暑い夏で、お盆休みは長かったのですが前半は喉風邪をひいて寝て終わってしまいました。

8月は会員増強月間だそうです。増強の目標を例年3名で立てていましたので、今年も3名で一応立てています。皆さんの方でこの人に会員になってもらいたいなという方がいらっしゃいましたら、会員増強委員会の方に推薦していただければと思います。よろしく願います。

8月6日の理事会では来週27日の夜間親睦例会についての協議と、社会奉仕について日程変更等について話しました。

その後、夜に柏南クラブさんの納涼例会に会長幹事、会長エレクト、幹事エレクト、親睦委員長とガバナー補佐の鈴木公三先生と補佐幹事の依田さんの7名で参加してまいりました。

南クラブさんは人数が減ってしまっていて大変だということなのですが、残った会員の中でクラブを活性化していこうということで一丸となって、地域の団体の方等も招いて150名近い参加で大変賑やかに楽しくやられていました。

この後、ガバナーより卓話をいただきまして、意見交換会を行いますので、皆さんの活発なご意見をよろしく願います。

## 幹事報告

寺井幹事



- 先日の手賀沼花火大会のお礼状が大会会長の星野純一郎様より届いています。実行委員長の村越会員のお名前も入っています。
- 柏中央ロータリークラブのチャーターナイトが10月10日(木) 17時半受付、18時点鐘でクレストホテル4階クレストルームで開催されます。会費はお1人1万円。服装等は通常例会に準拠、バッジを着用し名刺をお持ちくださいとのことです。参加希望の方は事務局までお声がけください。



今年度ガバナーを務めさせていただきます寒郡でございます。よろしくお願いいたします。

鈴木補佐と依田さんには非常にお世話になっておりまして、もうすでに柏東さんと柏西さんに公式訪問させていただいて報告書をあげてください等いろいろお願いしているのですが全て滞りなくやっていただいて、最強のコンビでいらっしゃると思います。ご協力いただきまして、ありがとうございます。

上村さんとはガバナー補佐時代に同期でございます、ちょうど隣同士でよくお話をさせていただきました。村越さんとは会長仲間でございます、本当に皆さん方お世話になりました。

今年度のR Iの会長はアメリカのステファニー A. アーチックという女性で、会長テーマは「ロータリーのマジック」ということです。

ドミニカ共和国で浄水器の設置活動をした時に汚い水がきれいな水に変わったのを見て子ども達が「もう一度その魔法を見せてよ」と言ったということで、ロータリーが行なっている素晴らしい活動はマジカルパワー、そういった意味で使っていきたいということだそうです。

しかしながら、IR会長のテーマや方針が毎年のように大きく変わると各クラブでなかなか対応しきれないため、3年位をひとつのスパンとして考えましょとR Iの理事会で決定しております。ですから来年は会長テーマはありません。そういう状況になっているということをご理解ください。

平和のための活動の促進、クラブでの体験を魅力的なものにしましょう、DEI推進による帰属意識の醸成等ありますが、後ほど説明させていただきます。

キーワードは継続と変化です。なるべく3年位をスパンとして考えていきませんかということですね。企業も一緒だと思いますが、常に新しいトライをしなければ業績を維持できないものでして、ロータリーも同じです。変化していきましょうということの方針として出されています。

最近のR Iの動向としましては、仕事をしたことがない人も加入でき、加入資格が非常に柔軟になっています。例会頻度も各クラブで決定できるようになりました。最低月2回はお願いしますとのことですね。

言語や文化等に依じたエリアの検討ということで、日本を例にあげると、日本は日本の文化で日本語を話していますが、そういったひとつの文化圏で、そこでいろんな事を考えていきましょうというような流れができつつあります。

日本においてもガバナー会というものが、オールジャパンで活動しています。米山についても同じです。

ここ20年位のロータリーの変化については、2007年のR I戦略計画の中の「奉仕、親睦、高潔性、多様性、リーダーシップ」という中核的価値観を大事にしていきましょうということが挙げられます。

2016年の規定審議会、2019年の規定審議会では本当に大きく変わっています。例会が柔軟になり、会員の多様性が導入されています。

2017年には理事会の中でビジョン声明が発表されています。

2019年の規定審議会ではローターアクトクラブがロータリーと同格になりました。

近年ロータリーは大きく変わっています。これはロータリーがいろんな意味で危機感があるということ象徴していると思います。特に会員数の減少は世界的にもそうですが、日本でも一緒です。ただ日本の場合はコロナが終わって下げ止まりをしたと言われていました。

昨年度は会員数が伸びているのは南米でした。歴史がある所は減少しています。それを少しでも解決するためにビジョンを作りました。

2017年6月に「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」というビジョン声明が理事会で承認されました。

そのビジョン声明を具現化するために4つのアクションプラン、行動計画が出来上がりました。

「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ということで行動計画推進の担当者を今後は各クラブで作って

ださいとのこととです。

社会奉仕活動をする上で大事なことは地域のニーズをよく調査することだとR Iは言っています。

女性会員比率はロータリーに加盟している219国のうち、日本は127番目だそうです。例えばモンゴルは50%が女性だそうです。意識することが大事だと思います。

クラブの課題として会員の減少や高齢化を危惧している方がたくさんいらっしゃいます。我孫子クラブさんは本当にいいクラブだと思いますが、少しでもいろんな方々を仲間に迎えていただければと思います。

(有田ロータリークラブの国際青少年交換留学プログラムに関するローカルニュースを視聴)

ロータリーのプログラムというものは素晴らしいことをしていると思います。ロータリアンは素晴らしい方々の集まりですから、そういう方達と交わりながら是非こういった活動をしていただきたいと思います。

マイロータリーの中にクラブの健康チェックみたいなものもありますので、やっていただくと自分のクラブのことが客観的にわかります。

変わっていかねばならない部分はあるのではないかと、トライすることは大事なのではないかと思います。

我孫子クラブさんはハワイのアラモアナクラブや台湾の豊原クラブと姉妹クラブ提携されているとのことですが、60周年を控えていらっしゃいますし、ぜひ国際的な交流をしていただきたいと思います。

3年間の目標と計画(3-year Rolling Target / Plan) というのがありますが、3年間で目標設定していただき具体的な数値化をしましょうということです。

私の基本的な考え方は、主役はクラブであり、ロータリアンであるということです。最優先に考えるのはクラブの繁栄であると思います。

余談ですが、20年近く前にアメリカのポートランドに取引先があり、そこでメーキャップをしたいとお願いしたら、たまたま金曜日だったのですが、金曜日は例会がないから知り合いの警察署長に頼んでおくからホテルのロビーで待っててくれと言われ待っていたところ、玄関にパトカーが着き警察官が降りてきました。ボスに言われたので今から例会場にお連れしますとのことで、パトカーに乗って行きました。行った所はジューイッシュ コミュニティ センターという所でユダヤ教の公民館のような所でした。

その時に隣に背が2m以上のジーンズをはいた人がいて、あまりにも馴れ馴れしいので警察官の彼に誰かと聞いたら、非常に有名なバスケットボールチームのスーパースターだったということもありました。

DEIを基本としたクラブの活性化ですが、ダイバーシティ、多様な人達というのは皆さんよくご理解いただいていると思います。一番大事なものはエクイティ(公平さ)だと思ひまして、ひとりひとりの違いを理解して気遣ってあげることだと思います。

人は違います。ロータリー観も違うし、求めることも違います。昼の時間に来ることが難しい人もいれば、来られる人もいます。相手を気遣ってあげれば、インクルージョン、みんなが一体化するようなクラブが形成されるのだと思います。相手を気遣うことで、クラブへの帰属意識も生まれます。

ロータリーを続ける理由を日本のロータリアンに質問したところ、異業種交流の場であるというのが一番多かったのですが、次に生涯の友人、とありました。本当に素晴らしい人達と生涯の友人を作ることができる場でもあります。

今まではトレーニングと言っていましたが、ラーニングに変わりました。一方的に話すのではなく、お互いにディスカッションすることによって、自分で考え自分の知識にしていくことがラーニングだと思います。

ロータリーは親睦と奉仕とおっしゃる方が多いのですが、多様性であったり、高潔性であったり、リーダーシップも大事です。海外と取引をしておりますと、ロータリアンとの取引の方が安心します。なぜなら高潔でリーダーシップがあるからです。

いろんなハラスメントの話が多く、それに対する対処の仕方や考え方について1年間、マニュアル作りをお願いしています。

今年度は2025年6月21日～25日にカナダのカルガリーで国際大会があります。カルガリーへは直行便がありますので、できましたらご参加いただければありがたいなと思います。

地区大会は2月8日(土)、9日(日)にTKP東京ベイ幕張ホールで、記念ゴルフ大会は4月23日(水)に久能カントリー倶楽部で行いますので、よろしくお願いいたします。

ご静聴ありがとうございました。

## 【意見交換会】

ディスカッション テーマ:

- ① 会員増強について
- ② 奉仕活動について



開会の言葉・趣旨説明

日暮会長

例年、クラブ協議会等を行なっていたのですが、去年はグループディスカッション、今年はガバナーとの意見交換会ということで直接ガバナーとの意見交換、会員皆さんの意見をそれぞれ聞くいい機会になると思いますので、皆さん活発な意見をよろしくお願いいたします。

### ① 会員増強について



ファシリテーター

村越会員

8月は会員増強月間です。まず、話の端緒に会員増強委員長を何回か務めていらっしゃいます小池会員にお話をいただいてから意見交換会をしたいと思います。



会員増強について

小池会員より

以前は1業種1名という基準がありましたが、1クラブに5名、または51名以上のクラブについては10%まで同一業種の入会が認められるようになりました。現在では職業分類の制限が廃止されたことで更に入会の基準が緩和されています。

しかし我孫子クラブにおいては基本的には従来の制度を尊重し、なるべく職業が重複しないように入会候補者の選考を行っているのが現状です。我孫子クラブの会員となるにふさわしい人を慎重に選ぶことによって、現会員の維持につながると同時に、新会員受け入れに対する現会員のスタンスが望ましいものとなり、良好なクラブ運営につながっていると思います。

11グループの中で、我孫子クラブの会員増強の選考が厳しいのではないかという意見をいただいたことがありました。選考が単に厳しいのではなく慎重に選考しており、だからこそ早期退会者の防止につながっていると思います。ここ20年以上、入会4年未満で退会された方は私の記憶の中ではございません。

しかし、我孫子クラブでは明確な会員選考基準は存在しないのも現状です。他クラブの選考基準があれば後ほど教えていただければと思います。

私見ですが、我孫子クラブについては現在33名ですが、35名位で維持できればいいのかなと思っています。

## ファシリテーター 村越会員

我孫子クラブは33名中、女性会員が3名で10%弱で日本の平均よりは少し多いのですが、なかなか女性会員が増えない現状です。女性会員を代表して石原会員、何かご意見ございますか。

## 石原会員

女性会員の中では一番の年長者になってしまいましたが、女性会員を勧誘することは非常にむずかしいです。家庭のこと、ご主人の理解、子育て等いろいろな縛りがあります。

お仕事をなさってない方も入会できると伺ったので、いろいろ考えてみたいと思います。

## ファシリテーター 村越会員

退会防止について何かご意見ある方いらっしゃいますか。一番ロータリー歴が短い、と言っても1年以上ですが、木村会員いかがでしょう。

## 木村会員

僕は右も左も分からない状態で我孫子クラブに入りまして、皆さんの人間性というか、あたたかみをすごく感じて、とてもいいクラブだなという感じがあります。

若い方とかが入ってきた時にクラブの感じが変わるのかな、とかいうことも想像できますし、むずかしい感じですよ。

## ファシリテーター 村越会員

この中で最年長でいらっしゃる瀧日会員、過去の会員増強のご経験を少しお話しいただければと思います。

## 瀧日会員

私は入会して40年位でたぶん一番長く、その間やめられた方がおられたのは事実ですが、変な形で退会された方はいらっしゃらないですね。だから当クラブは大変居心地がいいのだと思います。

## 石原会員

女性会員についてですが、私の父親は松戸のロータリーにおりまして、松戸は女性会員を入れないということで今だに女性会員がいないとお話を伺っています。

先日、女性のロータリーの会というのがありまして、「松戸はなんだ」という声が女性からあがり、女性の力を発揮しましょう、ということがありました。

我孫子に関してはいかがなのか明確に伺いたいです。



## 上村文明会員

実は我孫子でも昔、女性は絶対にいれないという方がいらっしゃいました。空気が乱れるという理由でしたが、その方は亡くなり、そういう意見は自然消滅しました。

女性は大いに歓迎だし、同業でも職のない人でも入っていただきたいと思っています。

市町村合併の時に我孫子クラブは柏北クラブになるんじゃないかという話もありましたが、私はほとんどないと思って、うちのその当時の市長さんは柏とは一緒にならないということで、その選択はよかったと思っています。

## 国際ロータリー第2790地区 ガバナー 寒郡 茂樹様

私は小池さんと同じ意見で、ロータリーに入るということは本物の人間関係を築きたいということだと思っているので、それなりにハードルはあってもいいんじゃないかと思っています。

女性については、松戸クラブは銀行の支店長とかは女性だと無理だろうという話だったそうなのですが、女性の支店長が来られたそうで入られて、そうしたら女性がいた方がいいんじゃないかという雰囲気になったそうです。

うちの現会長も女性です。もうジェンダーの違いは関係ないと思います。頑張ってる方をお仲間にといいんじゃないかと思っています。

## ② 奉仕活動について

### ファシリテーター 村越会員

次のテーマは社会・国際・職業奉仕です。こちらは話の端緒を上村英生委員長にお願いしたいと思います。

### 上村英生社会奉仕委員長

我孫子は地区補助金を活用して、2つの大きな柱として婚活と子ども食堂支援をやってきました。この活動を継続したいという意見が我孫子クラブではあり、また先ほどガバナーからもお話あったようにロータリーの会長方針も3年位継続するというお話もあったのですが、地区の課題とかって単年度で切っていくのはどうなのかなと常々思っていました。

ただ補助金を活用しないと社会的な大きな活動は1つのクラブではできないので、補助金を活用しなければいけないのですが、その辺で引っかかりを感じています。

子ども食堂支援というのはいい事業だと思っていたのですが、補助金のからみで出来ないの、地区の課題ということで地区の社協の方と協力しながら別の事業、高齢者の疑似体験授業をすることにしました。

今回、社会奉仕委員長を引き受けて、いろいろ企画していて、さらに今日のガバナーのお話を聞いていて、地区の課題の支援は単年度ではなく3年位継続した方がいいんじゃないかと思ったのですが、他の会員の皆さんはどうお考えになりますか。

## 国際ロータリー第2790地区 ガバナー 寒郡 茂樹様

基本的な考え方として地区補助金についてはなるべくハードルを下げてくださいと、ここ何年かお願いしています。

しかしながら補助金がなくなるとその事業がなくなるというのは問題だと思います。ロータリーのスタンスとしては補助金がなくなっても運営できるようにしてもらえませんか、というのが基本になっているので、同じ事業だと内容を変えてくださいとか削減してください、ということになります。

補助金は財団の方にいつも聞いていて、財団の方からダメ出しが来るのです。規定が非常に細かいので、できれば独立してうまくやってもらえるようなシステムを作ってもらえませんか、ということになっています。むずかしいですね。

### 国際ロータリー第2790地区 地区幹事長 原 幸司様

社会奉仕委員長等をやらせていただきました。おっしゃることはごもっともで、そういうお話をたくさんいただきました。ただ補助金ですと10年も20年もみたいなのも困るということで、3年位でやるのはいいなと思うので、これからの課題だと思います。

新しい奉仕活動をやるきっかけ作りの材料としてご利用いただけると一番いいのかなと今のところはそういう風に思っています。

## 藤本会員

寒郡ガバナー、今日はありがとうございます。

地区の国際奉仕を通算3年やっていました。そのうちの2年間はコロナで国際奉仕は何もできなかったのですが、奉仕統括プロジェクトの中には社会、国際、職業、環境の委員会があり、垣根なく何を奉仕していこうか和気藹々と話し合いができる委員会でした。

各クラブからあがってきた地区補助金の事業の精査はランダムに評点をつけ、みんなでディスカッションし、各クラブにフィードバックしていました。

職業奉仕も国際奉仕も一緒に何かできることがあるんじゃないかというお話があり、それは非常に素晴らしいことだなと思いました。当クラブにおいても各委員同士で何か1つのことをやっていければいいなと思います。

地区の現国際奉仕の高田委員長が推進されています「つなぐ2790」についてですが、非常にいいプロジェクトだと常々思っており、皆さんにもお伝えしている通りです。提唱したクラブに他クラブが賛助クラブとして参加し、国際奉仕の意義ある奉仕活動を皆さんと共有できればと思います。

## ファシリテーター 村越会員

社会奉仕事業ということで我孫子独自の事業で婚活パーティーを我孫子市少子高齢化対策として3回やりました。その時に委員長でいらした柳田会員、何かご意見ありますでしょうか。

## 柳田会員

先程ガバナーとも少しお話しさせていただいたのですが、実はその件に関しては、1組は結婚されていて、もう少しで結婚という方達もう1組いらっしゃいます。

この事業に関しては2年位あくのですが、今年はやらないの?という声がいくつかあるので、継続していけば結果がもっと出て来るのかなと思います。我孫子ロータリークラブ名物と呼べるようなイベント、でもいいのかなと個人的には思います。

その辺も皆さんと共有して、これから皆で考えていきたいなと思います。

## ファシリテーター 村越会員

鈴木ガバナー補佐、我孫子独自の国際奉仕、井上先生と星野先生のお話を少ししていただけますでしょうか。

## 第2790地区 第11グループ ガバナー補佐 鈴木公三様

私は入会して26年になりますが、2年目にめばえ幼稚園の井上圭司先生と一緒にスリランカに行きました。

井上先生の幼稚園にソーマ・ワンサさんというスリランカのお寺のお坊さんが見学に来て、スリランカの子供達にこういう教育の場を与えてあげたいと先生に思いを託して事業を始めました。

スリランカは砂埃の中を古いダットサンとか日本の中古車ばかりが走っていて、その中に1台「めばえ」と書かれた古いバスが走っていました。井上先生が船で送ったのでしょうか。

ソーマさんが作ったMCUという、その頃は幼稚園と小学校とあったのですが、その見学に行った時、町中の人達が道に並んで歓迎してくれました。今は大学まである大きな団体になっています。井上圭司先生はお亡くなりになりましたが、ソーマさんはお元気でいらっしゃるようです。

もう1つは星野邦夫先生がフィリピンにハンセン病患者がいっぱいいて、ほったらかしにされていて、足掛け10年間、医療奉仕をされました。

生意気かもしれませんが、国際奉仕は我孫子が発信をしたと思っています。

## ファシリテーター 村越会員

ありがとうございます。話は尽きませんが、また機会がございましたら社会奉仕に関してもディスカッションしたいと思います。今日はありがとうございました。

## 講評

### 国際ロータリー第2790地区 ガバナー 寒郡 茂樹様

皆さんでいろいろお話をされるとお互いによくわかっていいと思いますし、素晴らしいメンバーが入会されて益々素晴らしいロータリークラブにしていただければと思います。

## **社会奉仕委員会報告**

上村(英) 委員長

来週31日(土)はあびこカップまつりです。今のところ10名弱の出席です。まだまだ募集しておりますので、皆さんご集合をお願いします。

先程申し上げました社会奉仕事業、疑似体験授業ですが、1月30日(木)朝9時から12時まで、できれば女性会員の方と会員の奥様、是非とも出席の方よろしくをお願いします

## **親睦委員会報告**

野田委員長

来週27日(火)は親睦夜間例会が行われます。26名の参加で、奥様のご参加が6名となっております。本日締め切りになりますので、まだ回答されていない方はよろしく願いいたします。たくさんの方に来ていただいて楽しい1日にしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

## **出席委員会報告**

木村(政) 委員長

28名(出席免除者含む)出席(全員で33名) 出席率84.84%  
業務による欠席：川村会員、倉持会員、谷川会員、前田会員、湯下会員

## **閉会の点鐘**

日暮会長

寒郡ガバナーにおかれましては、懇談会から卓話、意見交換会まで長い時間ありがとうございました。ガバナーからアドバイスいただいたのは、卓話でもありましたが姉妹クラブを活用した活発な国際交流です。

また他の国際交流に関しては、藤本会員がおっしゃっていた「つなぐ2790」で今年度からカンボジアにメガネを送る事業が始まるそうなので、もしクラブとして具体的になれば、そこに参加されてはというアドバイスもいただきました。

また我孫子クラブに対する要望としては、できれば地区の方に積極的に参加していただきたいというご意見をいただきました。本日は長い間どうもありがとうございました。

これで8月第2例会、ガバナー公式訪問を終了いたします。点鐘させていただきます。



今週の表紙「佃煮 安井家」千葉県我孫子市本町3丁目5番1号

我孫子駅南口から徒歩3分の場所にある老舗の佃煮屋さんです。贈答シーズンにはお客様が絶えない人気のお店です。

創業昭和2年、東京の三ノ輪で佃煮を製造販売したのが安井家の佃煮の始まりで、我孫子の地へ移り60余年、安井家の佃煮は我孫子の名物として「ふるさと産品」にも選ばれています。お薦めは一番人気の「ごっこの佃煮」です。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。